

科目名	精神看護学概論		時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師		2年次	前期	30時間	2単位
科目設定理由	今日の日本の精神医療は、入院治療から地域生活支援へ移行を目指す取り組みが行われ、また治療より予防へとシフトしてきている。そして精神疾患が五大疾患として国民の健康に関する施策に盛り込まれたことや、精神障害を持つ人々たちへの新しい支援の考え方である「リカバリ」「ストレングス」に基づく支援の方向性が打ち出され、精神医療に関連する施策の変化や医療、看護を提供する際の方向性が変化している。そこで、社会の変化の流れに対応した、精神の健康を支援する看護師を養成することを目的として当該科目を設定した。					
学習目標	1 精神看護の対象と看護の場について理解し、精神看護の役割と機能を理解する 2 精神保健福祉に関わる法制度の変遷について理解する 3 精神保健の課題について理解する					
授 業 計 画						
回数	項目	内 容				備 考
1	精神保健・看護の概念	1 精神看護とは 2 精神保健とは 3 精神看護の目的・機能・役割				講義
2~3	精神保健	1 精神の健康とは 2 精神障害のとらえ方 3 回復（リカバリ） 4 ストレングスとレジリエンス 5 一次予防・二次予防・三次予防				講義
4~5	心のしくみとはたらき	1 精神とは 2 心の構造について 3 防衛機制				講義
6~7	精神保健医療の沿革・歴史	1 精神障害と治療の歴史 2 日本における精神医学・精神医療の流れ				講義
8	リエゾン精神看護	1 リエゾン精神看護とその活動 2 リエゾナーズの実践				講義
9	生活の場とクライシス	1 クライシスとは 2 家庭・学校・職場・地域における危機				講義
10~11	精神障害と法制度	1 精神保健福祉法と医療 (1) 入院形態 (2) 精神保健指定医 2 精神障害者の権利擁護 3 障害者総合支援法と人権 4 自殺対策基本法と人権・看護				講義
12~13	地域における精神保健と精神看護	1 生活を支えるための社会資源・サービス				講義
14	看護における感情労働	1 感情労働としての看護 2 看護師の感情ワーク				講義
15	終講試験					
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1] 精神看護の基礎			武井 麻子 他		医学書院
	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2] 精神看護の展開			武井 麻子 他		医学書院
	精神看護学 精神保健			太田 保之 他		医歯薬出版
	国民衛生の動向			厚生統計協会		
参考図書・資料等						
評価方法	筆記試験、グループワーク、レポート、出席状況などを総合的に評価する					